

昨年度はACCESSの基礎と応用を「さら〜っと」教えてもらった。  
先生によると、ACCESSというデータベースソフトは奥が深く、  
“業務”をまるごと作り上げるようなこともできるという。  
そこで、せっかく教わるなら自分の仕事に役立つように  
“運用実績管理業務”を作ってみようと考えた。  
目標は年度末の完成！（なんて、公言してイイんかなあ…）

これは、アクセスにあくせんす（悪戦す）る苦闘の日記である。（^^;）

### 前回までのあらすじ

ACCESSで業務処理を完成させる！と決意した野口は、システム部門の1年先輩に教を乞う。  
先輩は毎回ヤキニクを奢ることを条件に、手取り足取り教えてくれることになった。

（^^;）コウキュウナヤキニクハマダハサセナイガ…

既存の帳票から項目を3段階に分析するという手順によるテーブルの基本設計後に、やっとパソコン操作が始まった。テーブルの作成、リレーションシップの作成などの後に、実際のデータをデータベースにインポートした。さらに、データ入力のフォームを1つ作ると、全体の画面処理の流れをつなぐ「マクロ」を勉強せよという厳しい宿題が…！。果たして業務システム構築のゆくえは如何に？

11月×日 机の前で頭をかかえる野口。マクロの宿題はだいじょうぶか〜！？

「前は、画面の流れ図を作り、ボタンを押したときにマクロが動くようにするというのを教わったんだが、実際に図を作ってみよう。その中で、フォーム、ボタン、そしてボタンを押したときに動くマクロの1つ1つに番号（記号）をつけてみよう。」

「フォームを大文字のA, B, C, D、ボタンは①から連番を付け、マクロは小文字のアルファベットとしよう。」

「さて、流れ図ができたぞ。（次ページ参照）たとえば、メインのフォーム(A)から『変更・削除』ボタン②を押すと、“検索”フォームがマクロ(c)[M\_ベ実\_検索]によって起動され、ベンチマークIDと年月を入れて『検索』ボタン⑥を押すと、マクロ(d)により“変更削除”フォーム(D)が起動される、と。そして、このフォームに表示された内容を変更入力して、『変更』ボタン⑧を押すと、もう一回“検索”フォーム(c)に移動するから、Accessの場合は入力したデータは自動的に更新されるということだな。（“新規”フォームの『登録』ボタンも同じ）各画面の“戻る”ボタンは、“メイン”フォーム(A)を開くマクロ(a)を起動する、というふうにグルグル回って回って回って回るウ〜！（@@;）」

「流れ図と併行して、フォームとボタンとマクロ処理の一覧表を作ろう。（次ページ参照）」

「さて、この“削除”ボタン⑨を押したときのマクロ(e)の処理がよく分らないぞ。電話で先輩に聞こう。」

野口：「もしもし。先輩、“削除”処理がよくわからないんだけど…」

先輩：「そうだね。削除の処理はイメージがわかないだろうと思ったよ。でも“検索”処理は作る事ができたんでしょ？それと近いイメージなんだけど。」

野口：「え？検索画面にキーを入力して検索ボタン押せばいいだけじゃないの？」

先輩：「あちゃ！キーから実際のデータを探してくる仕掛けが必要なんだよ。前回、『テーブルから内容をフォームに表示することもできるけど、専用のクエリを作ってそのクエリの中身を表示すればいい。』と言ったよね。その応用なんだ。選択クエリに抽出条件をつけて、その条件に検索フォームに入力した値が入るようにするんだよ。」

野口：「なるほど。」

先輩：「“検索”が選択クエリでできる、といったら“削除”はどうすると思う？」

野口：「あっ、そうか！削除クエリを作って、それをマクロで開けばいいのか。」

先輩：「正解！では、具体的にやってみよう。」 ⇒ [3ページに続く](#)

## “ベンチマーク実績” メンテナンス処理

〔概要図〕

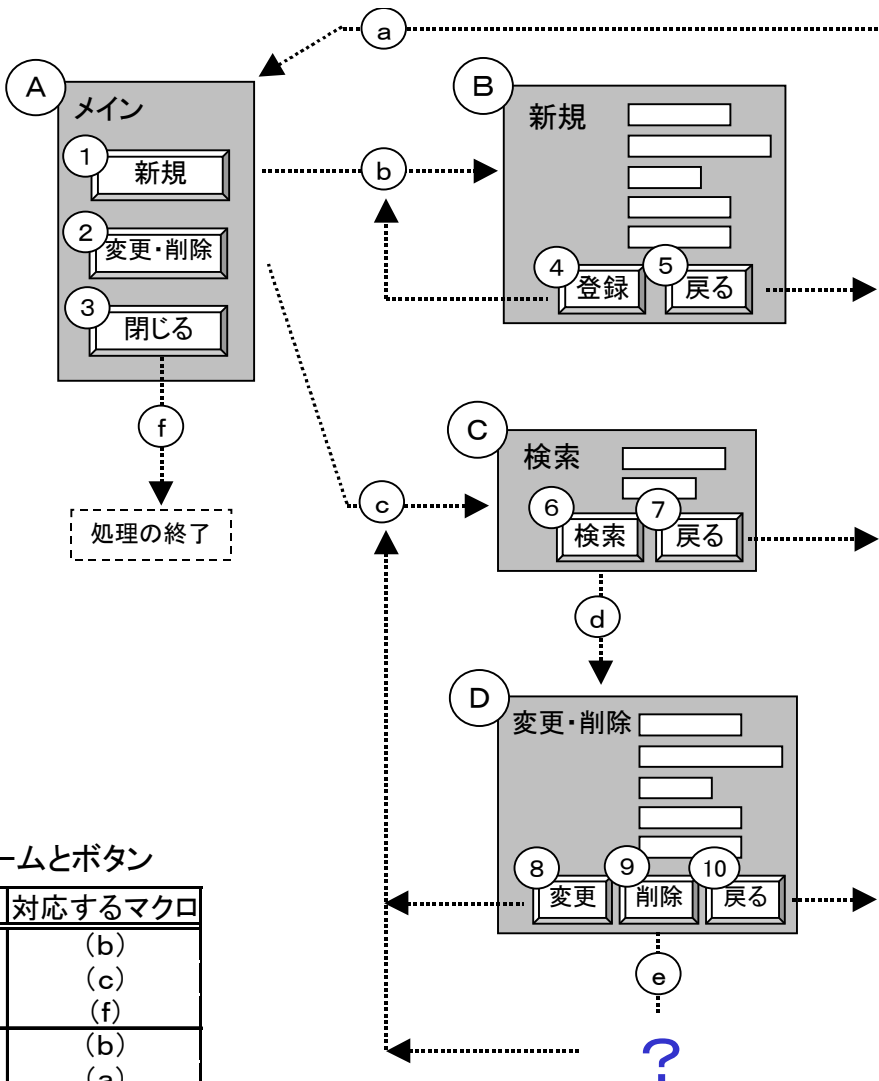
◎ 右図のように“ベンチマーク実績”のデータをメンテナンスする処理の流れを作ってみた。

◎ それぞれのフォーム(画面)には次の処理に飛ぶ“ボタン”を作りそれぞれのボタンに[マクロ]を割り当てる。(下表)

◎ マクロは、同じ処理をするものは同一のマクロで行う。例えば⑤⑦⑩のボタンでは同じマクロを使う。

### “ベンチマーク実績処理” フォームとボタン

フォームの名前	ボタン	対応するマクロ
A F_ベ実_メイン	① 新規	(b)
	② 変更・削除	(c)
	③ 閉じる	(f)
B F_ベ実_新規	④ 登録	(b)
	⑤ 戻る	(a)
C F_ベ実_検索	⑥ 検索	(d)
	⑦ 戻る	(a)
D F_ベ実_変更 削除	⑧ 変更	(c)
	⑨ 削除	(e)
	⑩ 戻る	(a)



### マクロの一覧とその処理内容

No.	マクロの名前	処理
(a)	M_ベ実_メイン	フォームAを開く
(b)	M_ベ実_新規	フォームBを開く(入力データは更新される)
(c)	M_ベ実_検索	フォームCを開く
(d)	M_ベ実_変更削除	フォームDを開く
(e)	M_ベ実_変更削除_削除	?
(f)	M_ベ実_閉じる	閉じる

先輩:「まず、“ベンチマーク実績”全項目を抽出する選択クエリを作るとどうなる？」

野口:「こんなですかね。(下図)」

Q\_ベンチマーク実績: 選択クエリ

フィールド:	ベンチマークID	ベンチマーク名	年月	指数値	収益率
テーブル:	ベンチマーク実績	ベンチマーク	ベンチマーク実績	ベンチマーク実績	ベンチマーク実績
並べ替え:					
表示:	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
抽出条件:					

先輩:「そうだね。これが“新規”などの入力に使えるクエリだね。では、これを“Q\_ベンチマーク実績検索”という名前でコピーして。」

野口:「はい。」

先輩:「そして、検索の条件が“ベンチマークID”と“年月”だから、クエリの[抽出条件]のところに

[Forms]![F\_ベ実\_検索]![txt\_ベンチマークID]

[Forms]![F\_ベ実\_検索]![txt\_年月]

と、入力してください。」

野口:「これでいいですか？(下図) この『txt\_ベンチマークID』とかって何ですか？」

先輩:「“検索”フォームの中に、ベンチマークIDと年月を入力するテキストボックスを作るでしょ。その名前だよ。これで、画面に入力した値が検索の条件に入るようになるんだ。」

選択クエリ: Q\_ベンチマーク実績検索

フィールド:	ベンチマークID	ベンチマーク名	年月	指数値	収益率
テーブル:	ベンチマーク実績	ベンチマーク	ベンチマーク実績	ベンチマーク実績	ベンチマーク実績
並べ替え:					
表示:	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
抽出条件:	[Forms]![F_ベ実_検索]![txt_ベンチマークID]		[Forms]![F_ベ実_検索]![txt_年月]		
またよ:					

選択クエリをもとにした  
変更削除フォームが  
表示される

F\_ベンチマーク実績\_検索

ベンチマークID: 1000  
年月: 200407

[検索] [戻る]

レコード: 1 / 1

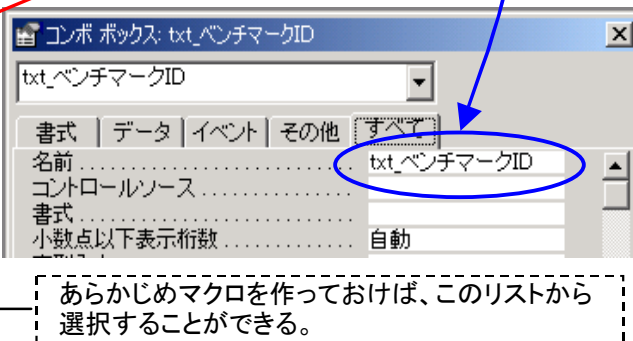
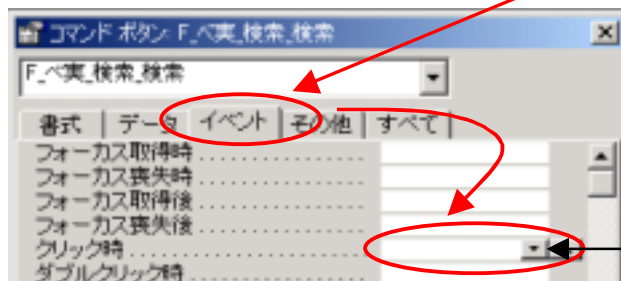
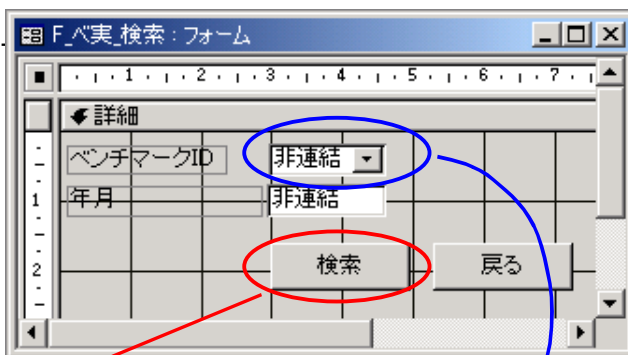
F\_ベンチマーク実績\_変更削除

ベンチマーク実績 変更・削除

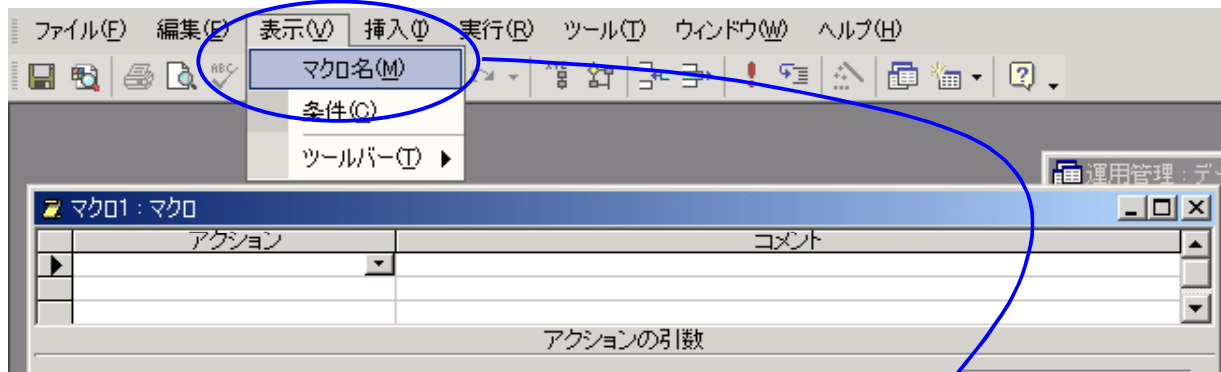
ベンチマークID: 1000  
ベンチマーク名: 野村BPI  
年月: 200407  
指数値: 289.878  
収益率: -0.2680135

[変更] [削除] [戻る]

野口:「“検索”フォームのデザインを開きます。」  
 先輩:「ベンチマークIDのテキストボックスをクリックして、プロパティを開いてね。  
 [すべて]のタグの『名前』のところに  
 “txt. ベンチマークID”と記入する。  
 これで選択クエリとつながったことになる。  
 “txt. 年月”も同じようにやってみて。」  
 野口:「マクロのほうにはどのようにつながるんですか？」  
 先輩:「“検索”ボタンのプロパティを開いて  
 [イベント]のタグの『クリック時』のところに  
 マクロの名前を記入すればいいんだ。」



野口:「マクロの名前は決まってるけど、まだ作っていませんよ。」  
 先輩:「フォーム、クエリ、マクロなどを行ったり来たりすると、わけがわからなくなりやすい。あらかじめ、マクロの“枠”だけ作っておくといいんだよ。マクロで“新規作成”を押してみて。」



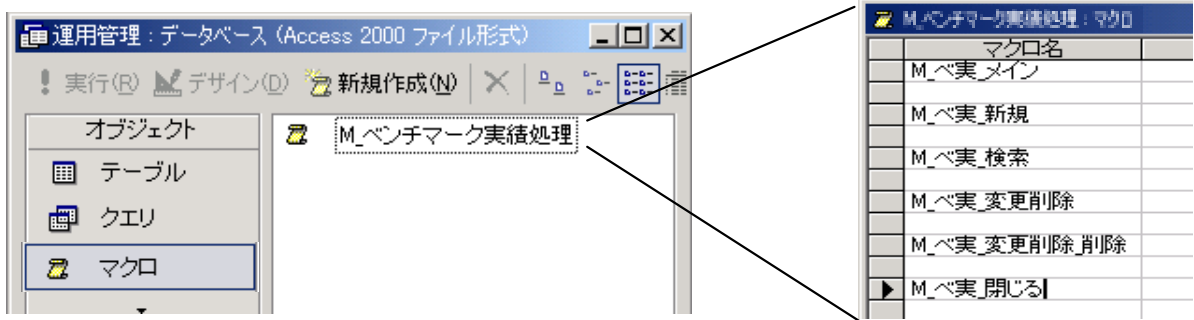
先輩:「この画面で、[表示(V)]→[マクロ名(M)]を選択してくれる。」  
 野口:「はい。『アクション』の左に『マクロ名』の列ができましたね。」



先輩:「『マクロ名』の列に、作る予定のマクロの名前(2ページ参照)を1行おきに入力して。それから名前をつけて保存して。名前は“M\_ベンチマーク実績”としようね。」  
 野口:「はい。でも何をやっているのかよくわからないなあ。」



先輩:「下の図のように、マクロ『M\_ベンチマーク実績』の配下に6つのマクロが登録されたんだ。」  
野口:「なるほど。マクロのグループ化のような感じですね。」



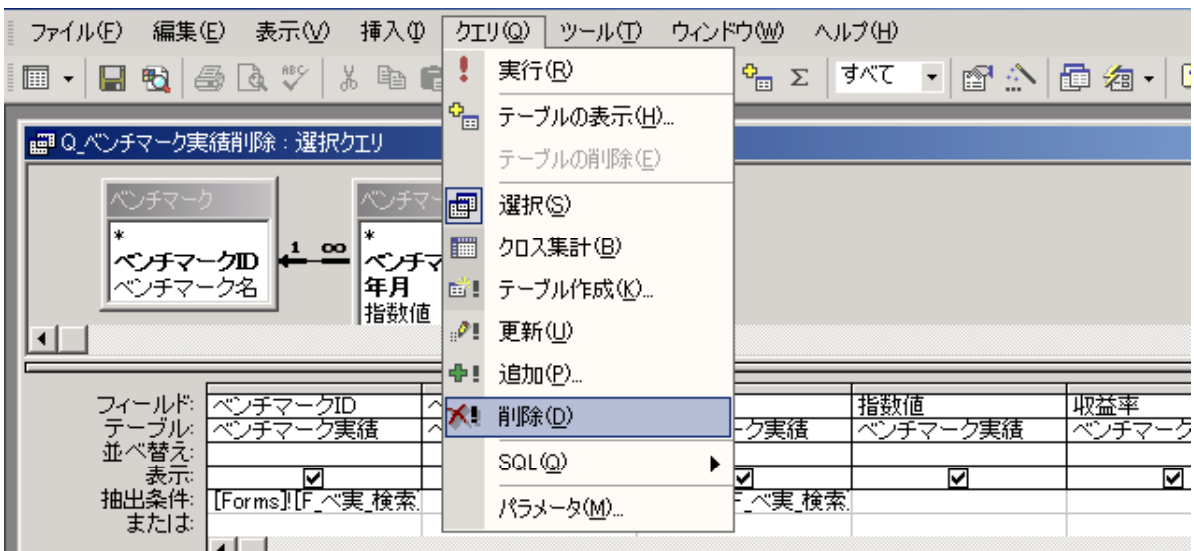
先輩:「ところで、削除クエリの作り方はわかるのかな？」

野口:「い～え。ぜんぜん！」

先輩:「はー！そーだと思ったよ。あとでテキストをよく読んでおいてね。まず、さっきの選択クエリをコピーして、名前を“Q\_ベンチマーク実績削除”として保存して、それからデザインビューで開いて。」

野口:「やりました。」

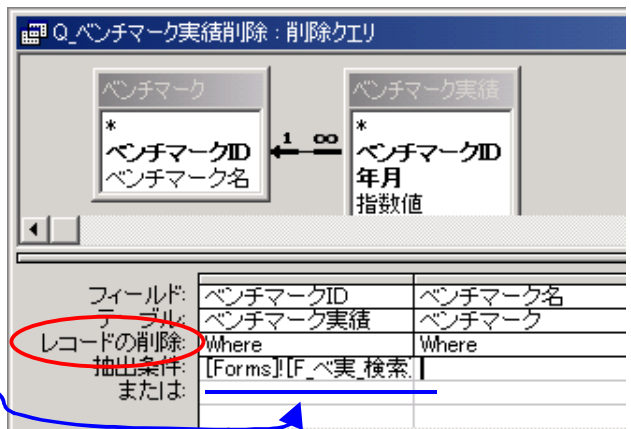
先輩:「メニューバーから、[クエリ(Q)]→[削除(D)]と進んで。」(下図)



先輩:「デザインの項目が“レコードの削除”に変わったのを確認して。」野口:「はい。」

先輩:「この削除クエリは、流れ図(2ページ)によると、“変更・削除”フォームの『削除』ボタンを押したときに実行するから、“変更・削除”フォームの中の“ベンチマークID”と“年月”とつながるようにする必要があるね。」

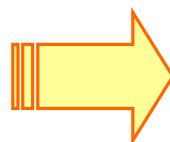
野口:「そうすると、この抽出条件が今は [Forms]![F\_ベ実\_検索]![txt\_ベンチマークID] となっているけど、フォーム名のところを [F\_ベ実\_変更削除] に変えるんですね。」



先輩:「そう。“年月”のほうも同様だよ。」



野口:「さて、だいぶ形ができてきて満足満足。次はマクロの中身ですね。」  
 先輩:「うん。でも今日はここまでね。」  
 野口:「え～！ どうして？ せっかくあと少して“ベンチマーク実績”処理が完成しそうなのにい。」  
 先輩:「だって、これ電話じゃん。授業料もメールじゃ届かないしねっ！」  
 野口:「あ、気がついてましたか！ いやあ、それじゃしかたないな。今度は現物持って伺いますね。」  
 先輩:「それより、来月はもう『クリスマス』だよ。そろそろ豪華な食事に誘ってくれてもいい時期じゃん。」  
 野口:「え？ いや、その、でも『クリスマス』はやっぱり特別な人と行くもんで…ないかと」  
 先輩:「そ、それもそうだね。じゃまになっちゃ、悪いもんね。(^^;)」  
 野口:「はあ？ こっちはぜんぜんそんなイイ話ないっすよ。先輩のほうを言ったつもりだったけど…」  
 先輩:「ああ、そうなの？(^^#)」  
 野口:「まあ、そうですね。次回は業務システムのめどが見えそうだし、“ど～ん”と奮発しますかあ！」  
 先輩:「期待してまあ～っす ♪」



To be continued...

## < コーヒーブレイク >

先:「いつも思うけど、“投資”ってヒビキが怖いよね。株なんかには手を出すと“凍死”しちゃいそう。」  
 野:「株に『手を出す』という表現は日本独特の言い方らしいですね。株式も資産の一部という“資産区分”の認識がないんでしょうね。歴史が浅いせいもあるし、戦後の経済運営の影響もあるようです。でも、とっつきにくいけど、競馬のようなギャンブルでもいろいろ調べて考えて買うような人がいるように、投資だって考えたり予想したりすることが好きな人にはいいですよ。」  
 先:「大損しちゃったら、ヤじゃない。もし、平成元年に日経平均と連動する株を買ったら、今では△78%つまり三分の一以下になっちゃうじゃない。」  
 野:「あんまり単純な数値で比較するのはよくないですけど、例えば同じ平成元年に新規発行の20年国債を買っていたら、現在は価格が21%増、クーポンが5%ですから単利でも26%の収益といえるんですよ。株のほうも配当が若干あるから△75%だとして、もし平成元年に20年国債を8割、日経平均を2割買ったとしたら、現在でも5.8%の収益がある計算ですね。」  
 先:「分散投資しろって言うわけね。」  
 野:「株式っていう資産は、年単位では非常に大きく上下する性質があります。そういうものだという理解が、おカネを入れる前には必要なんだと思いますね。」  
 先:「よく性質を理解して、よく考えて、他の資産との兼ね合いも考慮して投資しろと。」  
 野:「そうですね。結婚だっていろいろなコトをよ～く考えて決めるでしょ。おカネだって、いざ投資となれば、じっくり考えて決めるのは基本です。」  
 先:「なんでそういう話に持っていくかなあ…でも投資と結婚は似ているとこも多そうだね。」  
 野:「株式は上下変動があるけど、結婚は買った直後から減価する傾向があるようですけど(笑)。」  
 先:「それに、他の銘柄に乗り換える場合のコストは、ケタ違いになりそうだもんね(爆)。」  
 野:「結婚も“清水の舞台から飛び降りる”ような気持ちでスタートすることも多いんでしょう。投資にも“覚悟”が大切と言われます。」  
 先:「なるほど、じっくり考えて、銘柄を決めたら敢然と買い向かう…“凍死”などと言わず“闘志”を持てと。」  
 野:「へいへい(苦笑)、ざぶとん一枚！(^^;)」